
僕と君は絶対に等号では結べない

黒崎しのぶ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕と君は絶対に等号では結べない

【Nコード】

N1030Z

【作者名】

黒崎しのぶ

【あらすじ】

金管バンド部の副部長と部長は、ある日事件に巻き込まれる。

ひよんなことから、其々変な才能があることが分かり、現実や普通というものとは遠くかけ離れた生活を強いられる。

それでも学校は通えと無理難題を押し付けられながらもお互いに助け合い、支えあって成長していく。

二人の少女の愛と正義と友情と楽器の物語。

運命？そんなのその辺のトイレにでもティッシュに丸めて捨ててしまえ。

某田舎のとある小学校

北側の校舎の三階の端、グロツケンやトライアングルなどの音楽楽器が大量に置いてある

音楽室から、滑らかなバラードが鳴り響いていた。

この音楽を奏でているのは、40名ほどのこの学校の小学生たち。トランペット、トロンボーン、サククス（ソプラノ、アルトのみだ）、アルトホルン、ホルン、フルート、パーカッションの楽器があり、其々5〜8くらいの人数だ。

その中でも、一際目立つ楽器を、この小学校で一人しか弾けない楽器を演奏している少女がいた。

ソプラノサククスを演奏している、かみやのぞみ加宮希は、この金管バンドの部長をやっている。

頭脳明快、容姿端麗な、小6の彼女は、圧倒的な推薦で、部長になった。

頭が切れるだけでなく、一緒にいて楽しいと評判の希は、かなりの人気者だ。

部長がいるということは、副と名のつく部長、つまりは副部長もいることになる。

サククスという木管楽器がありながら、吹奏楽部ではなく、金管バンド部と名乗り続けるのは、この倶楽部のプライドだ！と、副部長で、トロンボーンのパートリーダーで、日本語能力の少し足りないナルシストなきつとこの物語の主人公の玖渚由貴くなせゆきは言っている。

希と由貴は、小2のとき偶々席が隣になったのがきっかけになり、彼女らの付き合いが始まった。性格が似ていることや、お互いに足りないことを補ってくれる存在が、後押しし切っても切れない仲間になった。

由貴はそこまで頭はよくないものの、それを補うはるか高い身体能力がある。

サツパリ且アツサリとし、周りの目は気にしない性格の癖に、潔癖症で、ナルシストという

よくわからない性格なところが面白いと、希は思う。そしてより一層、愛しく思う。

希は、足りないものがない、というか欠点がないという完璧さがありながら
それでいて誰にも優しく、自慢しないところが、由貴は羨ましく思う。

そして、ずっと傍にいたいと感じれる。

始めてあったその日から、その思いは、お互い変わらない。信じれる存在、守りたい存在、傍にいてほしい存在……すべてに当てはまりまくるほど、大好きだ。

羞恥という感情を全く持っていない由貴は、
しよっちゅう希に「好きだ！」とか「新婚旅行どこ行く？」

などの言葉を口に行っているのだった。

最後に長く、静かな和音が流れる。

指揮の女性、嘉村歩美かむらあゆみが、手を絞り、音を切る合図を出す。

その瞬間、教室は静寂に包まれる。

思わず息を飲むような、神聖な、穏やかな、バラードにふさわしい
終わりだった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1030z/>

僕と君は絶対に等号では結べない

2011年12月3日22時52分発行